

北米（ロサンゼルス）の現況について



7/15（木曜）

7/1 付でご案内しました、ロサンゼルス・ロングビーチ港の両港湾の混雑状況ですが、以前に比べて改善の方向には転じています。現在、沖合で待機している本船も 10 隻前後まで減っております。ロサンゼルス港湾の混雑の原因は物量が増加したこと、新型コロナウイルスの影響によりヤードオペレーションの労働者が約 3 分の 2 まで減っていたことが要因と考えられています。現在はワクチン接種も進み、通常に稼働し始め、徐々に改善の方向へ進んでいます。また、トラックが主に使用している港湾の混雑状況が分かるアプリも活用され始め、それも混雑緩和の一助になっています。

その一方、他の西海岸（OAKLAND や TACOMA）が現在、深刻な港湾混雑になっています。数ヶ月前のロサンゼルス港のように沖合での数週間の待機が常態化しており、ロサンゼルス港を出港後、OAKLAND を経由する本船の日本到着に大幅な遅れが生じています。OAKLAND は港自体が大規模ではなく、貨物の増加により荷役・シャーシ・ドレー不足に陥っている状況です。

7/1（木曜）

ロサンゼルス・ロングビーチ港では、沖合で待機中のコンテナ船がここ 2 週間で 10 隻程度までと徐々にですが改善がみられています。その一方でオークランド港では、沖合待機が 25 隻程に増えており、混雑が更に悪化しています。来週には、7 月 4 日の独立記念日と 7 月 5 日の振替休日を控え、ターミナルの荷役が停止することになり、記念日前後は荷役の稼働率が落ちる傾向にあるため、再びターミナル混雑が再発する可能性を帯びています。

これらの影響もあり、内陸向け貨物が多く滞留している状況で、鉄道の貨車不足が深刻であり、内陸部でも特に中西部シカゴでかなりの混雑がみられ、シャーシ不足の影響で貨物のピックアップに通常より時間を要しています。

6/15（火曜）

ロサンゼルス / ロングビーチの両港湾の深刻な混雑について、現在も改善の兆しがみられず、先週もロサンゼルス / ロングビーチ港の沖合では 20 隻位の本船が待機している状況でありました。それに伴い、本船の遅延も慢性的に発生している状況です。一部船社筋の話では、この状況が改善しないままクリスマス商戦の貨物が入港してくる時期に入ってしまうのではとの懸念が聞かれます。

カルフォルニア州では 6 月 15 日から全面的に経済が再開される方針で、現在はマスク着用が義務付けられておりますが、6 月 15 日からはマスク着用の義務も解除となります。ワクチン接種に関しても接種率の伸び悩みの打開策として、カルフォルニア州では様々な手法でワクチン接種を促進させています。